

翔

第2号(平成2年1月1日)

装
翔ぶ!!

初春の初子^{はつね}の今日の玉簪^{たまはさき}

手に取るからに

ゆらぐ玉の緒^を

大伴家持



モデル 竹内恭子さん

モデル 森屋妃呂美さん

山原昌娃きもの着付学院



どうやら着こなしに自信
を持っているかのように
見えた。マレーシアから
の出稼ぎらしいが、もつ
と日本の和服を分かつて
欲しいと思う。勿論、飲
み物だけで早々に引き上
げた。

がきに、佐多稲子さんは、装う
ということが美しさになるのは、
個性の確立ということを根底に
持ったときかもしれない、とま
とめている。装いの意味や心が
けを、つきなく語りかける本な
ので感銘深く読んだ。

今年の六月に、まもなく白夜
を迎える北欧を旅した。湖水に
映える新緑や、貪るように陽光
を浴びている人

二千年の歴史を持っている着
物には誇るべき先人の英知がひ
そんでいる。日本の心が脈々と

たまたま七尾線の車中で、山
原学院長とご一緒した。いつお
会いしても端正な和服姿がよく
似合う人だが、身近かに、着物
を通して滲み出

々の顔に、それ
ぞれ生命の輝き
が溢れ、短い夏
を懸命に生きて

着物あれこれ

七尾市教育長 宮田 一 男

す優しさと温か
さに接し、人柄
が装いを、さら
に美しくしてい

いく構えが見えて感動した。

息づいている。女性はとくに、

ることを改めて知らされた。ま

湖畔のレストランに「すきや
き」の看板を見つけ友人と食事
をすることにした。ところが、

着物を装う都度、豊かに心が育
まれ真の美しさを身につける機
会に恵まれる。装いの基本を大

さに学院長は機関誌「翔」の願
いを先導する指導者である。山
原学院の発展を心から祈ってや

出てきたウエイトレスに私たち
は啞然とした。上等な和服なの
に、今にも踊り出しそうな着付

てきた先人の英知を伝承して、
心情や言行にまで美しさを表現
するよう努めねばなるまい。装

いの美と内面の美を共に求める
女性の生き方こそ、先人たちが
望んだ道だと言える。

け、「着る」というよりは「まと
う」といった格好で、帯の「結
び」方も知らないのには驚いた。

望んだ道だと言える。

望んだ道だと言える。

日本の仮装にも、こんな奇抜な
着物の着付けはない。彼女等は

「日本の名随筆38・装」のあと

「日本の名随筆38・装」のあと



元禄年間上宿の時代より、
今に伝わるまごころのお宿。



政府登録国際観光旅館 **ホテル 海望**
TEL (0767) 62-2315(代)

東 山 園 佐 藤 茶 店

七尾市西藤橋町78 TEL52-0413



「着る、着せる、結ぶ」の技術に「心」を加えて
熱心に勉強する金沢教室の人達

「金沢きもの着付け教室」は金沢駅に程近い「アーク金沢」(労働会館)三階で火曜日の夜、授業をしており、

去年の秋の開校でこの秋に一年がたちました。最初は中日文化セン

ターの着付け教室から指導資格を取得し、研究科に進む人、紹介されて来られた人達との出発でした。

金沢にはそれ以前に資格を取得された人の勉強会「彩の会」も既

厳しく暖かいご鞭撻を!!

石端 雅子



一期生全員集合!! <羽咋教室>

公民館・羽咋中央公園等の公共施設や、羽咋最大のスーパー「マーケットジョイフル」、金融機関等が隣接し、羽咋のメインストリートの中にあります。先般、第四期生を迎えました。また、一期生二期生は「はまなす会」のもとで月二回の勉強会を行っています。親切・丁寧をモットーにし、山原昌雄先生の基に、私達四名(柏原・横山・瀧見・中川)は毎日張り切っております。皆様方の暖かい時には、さびしい、ご指導とご鞭撻を待ちたいと思います。

(鹿島郡鹿西町)

技術に「心」も加えて

中座 道子

ました。金沢の人口は45万人とか。習い事の教えるに、くいと他の人から耳に致しました。私は着物が好きで着付けを通しての人との出会いを喜びとしてきました。

「心」を加えて、仲間の皆様のご協力を得て、今はまだささやかなものでありますがこの教室を大切に育ててゆきたいと思っております。皆さん!! 応援して下さいね。(金沢市)

に発足しており、その中から二名づつ教室に出てもらって、今、三期目に入りました。この十月には教室から初めて二人の方が指導資格を取得され私にとって感慨深いものがある

ので、金沢に移り住んだのを機に金沢の片隅に小さな石を一つ置いてみたくなり(開校したの月には山原院長が創刊号に書いておられる様に「着る、着せる、結ぶ」の技術に



まずはそろってごあいさつから

また、六畳と八畳の二部屋という狭い教室ですが、集まってくる人は皆、ホットで明るく、広い心の持ち主ばかりです。お手伝いしてくださる先生方も、私も、年は三十そこそこ。そんな私たちに、二十才以上も年上の生徒。その生徒さんから、「先生、先生」と呼ばれる度に、私の方が頭の下がる思いがします。

人間、赤ちゃんと一緒にお腹の中にいる時も、産声をあげてからも、ずっと、山原院長に、導びかれてきました。はいはいが出来るようになり、つかまり立ちが出来るようになり、歩きました。一歩、二歩とヨチヨチながら、自力で歩けるよう水見教室の皆と一緒に、頑張りたいと思います。(水見市)

産声上げて丸一年

氷見教室 田中 孝美

「ハア」水見はよいと今朝に桜... (水見音頭より) 七尾から車で約一時間、よいとこ、水見のほぼ中心地に、私たちの水見教室があります。周辺には、商店街、病院、市役所、朝日山公園などがあります。

現在、週二日、水曜日と金曜日に、それぞれ午後一時半から夜七時からの二回づつ授業を行なっています。生徒数は、二十二名。まだまだ少ないのですが、その分、十分に目がとどく事を喜んでいきます。

野菜・くだもの・鮮魚
どれをとっても...安い、フレッシュ!

安田ストアー

配達OK!

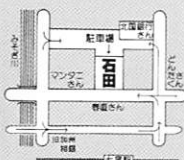
南藤橋町 TEL53-5543

あなたを、おもしろく美しく
表現してみたいかですか。

宝石・メガネ・時計・電化品

石田

七尾市中央通り TEL(0767)52-0964



モーニング

七尾市御抜町イ部33

TEL. 0767(52)-1007

ほんてん

七尾市上府中町ス部1-2

TEL. 0767(52)-1873

夜間TEL. 0767(53)-0349

FAX. 0767(52)-1007

「ふるさととは遠きにありて思ふもの
そして悲しくうたふもの」
ふるさとが自分から遠ければ遠いほど、そして時の流れが遠く、過去のものになればなるほど、懐かしく想い出されるふるさと、今はもう自分の帰る所ではない。ふるさとを想う時、必ず頭に浮かんでくるのが、この小景異情の一節です。
マイナーな時に限ってふ

るさとを想うのは、目の前の現実からの逃避なのでしようが、その現実を乗り越えて行くための、心の糧になっっている様な気がいたします。そんな心の糧を、遠く県外に持つミセスの方々の、心のよりどころが昨年

前向きに前進!!

「ふるさとの会」について

一月に発足致しました。

「ふるさとの会」

一人ぼっちだった私達にも、今を一緒に喜び悲しんでくれる、大切な家族が

来ました。

そして、同じ場所と同じ気持ちで、限られた時間の中で、お互いのふるさとを想い、語れる友達に巡り会う事が出来ました。

生活習慣、ことば、風土の違いに、この土地でどう生きて行こうか思い悩んでいる、未だ見ぬ方々が沢山いらっしやるのではないのでしょうか。

今は着付けが接点なのですが、夢は、就職のためにおいてになった方や、学生の方にも参加して頂き、単に哀愁に浸る時を過ごすのではなく、ほんの少しでも、どんな事でも前向きに考え、前進出来る様なスクラムを組んでいけたらと思っております。

小さな点が大きな輪になるまで、会員皆で頑張っていくつもりです。(七尾市南ケ丘町・藤田寿代)

しつかりとスクラムを組んで……「ふるさとの会」



母と着物

形見と「あいびき」を

母は嫁入りの時にかんりの着物を持参して来たようだった。

末娘の母は親に大事にされ心が美しく、やさしい女性だったらしい。確かに私との付き合いは、中学一年までだったが、戦後の食糧難に着物を売っては、人び

とに食物をあげ、私には、洋服に仕立直したりしてくれたのを覚えている。

せっかく作ってくれた、洋服を、私が着ずにいると、友達に気を使っているのを、見抜き、友達のためにも作ってくれたのである。私と友達は嬉しくなっ

一晩手をつないで、私の家で一緒に寝たものだ。

近所の人には、母の事を神様のようだと、よく云っていたのを、耳にした。

母が死んだ時、たくさんあった着物は、数枚になっ

りた。さすが母のお気に入り物だけは、残っていたが……。

新しい母が来て、数枚の着物はダンスと共に、物置小屋の隅に小さくなって

ります。今、ニュー着物として、通用するのにと、思うと今まで、放っておいた

のが残念でならない。いえ、母にすまない……むしうに、母と着物が恋しい。

これはどうしたことか、年なのか、それとも着付を始めたことによつて、着物への、愛着が、深まった

いかしら。一度ゆつくりと、墓参りを兼ねて、母の形見の着物と

「あいびき」をしてこようと、願うこの頃である。(鹿島郡田鶴浜町・藤沢久江)

お知らせ

◆一月十四日 和倉温泉、加賀屋雪月花コンベンションホールにて「初春帯結びコンテスト」「装いコンテスト」

◆二月二十四日(二十五日) 能都町「勤労者プラザ」にて、準師範、講師合同研修会

会員消息

○結婚しました

〔金沢〕

岡本 尚子(旧姓・奥山) 福井県武生市三ツ口町二

一六〇一 坂井 優子(旧姓・太田) 金沢市東山一の三の十

近岡 尚美(旧姓・谷内) 金沢市北安江一丁目五番

二号 フレックスハイ三〇六

〔七尾〕

松本 和美(旧姓・出村) 鹿島郡能登島町野崎

浜中 成美(旧姓・浜中) 七尾市万行町17部7

藤井 則子(旧姓・ト部) 七尾市南ケ丘町

○転居しました

竹口 悦子

鹿島郡鹿島町尾崎ヲ6 (金沢市より)

※会員の消息欄を設けました。結婚・出産・転居の際は連絡ください。

〔原稿を募集します〕

日頃思っていることや、感じたこと、ニュース等、生の声をぜひ編集部までお寄せください。

おしゃれの殿堂

服地・洋装



七尾市御枝町駅前大通り
TEL (0767) 53-1074

オリジナル・フォト
IPS 岩間スタジオ
PHOTO STUDIO IWAMA

〒935 富山県氷見市本町1-4
TEL0766-72-1925

氷見市農協指定
貸衣裳・パーマ

宮沢美容院

〒935 氷見市中央町9-9 TEL72-1003

書籍・事務用品・学用品
コピーサービス

金丸書店

鹿島郡鹿西金丸又れ27番地
TEL72-3306

資格取得者一覧

準師範

田中孝美

氷見市幸町7の3



良き師、すばらしい仲間、友達、そして家族。いつも暖かく見守り、応援してくださるすべての人に、感謝の気持ちをこめて、「乾杯」!

着付士

米浜 美智子

金沢市平和町2-7-5



県住27-502
友達とお互いに着せ合えたらと習い初めて一年余。夢のような資格を頂き感謝の心一杯です。今後とも宜しく。

堀 外喜子

金沢市増泉四丁目10-35



着付士の資格を取得して、着る喜びから着せる楽しさができ、洋服では味わえない着物の世界へ一層学び努力して行きたいと思っております。

山本 江美子

金沢市牧町ヌ6



私は帯結び・着付をする事になって着物を見ていなる方を見るときは、なんとなく気になります。これからは着付士として頑張ります。

清水 昌美

金沢市八日市出町283



着付士として、着付をする事に、少しばかりの自信と結びのくふうが、次へのはげみになっていっている今日此頃です。頑張ります。

水上 美枝

鹿島郡中島町谷内甲-52



着付けを通しての出会い、大切に「着る」「着付ける」の技術向上に頑張りたいと思います。ですので、よろしくお願い致します。

藪田 由起子

鹿島郡鹿島町東馬場



留袖・振袖を着せる事が出来た様になって夢が実現しました。

つの日か娘にも着せる日を夢見て頑張っていきたいと思っております。

左近 清美

七尾市矢田町4号28の2



より素敵に、そしてその人らしさを充分生かせるような着付をめざして、日々頑張っております。皆様宜しくお願いします。

西谷 洋子

鳳至郡門前町剣地ヨの171の8



着物を着てあげる時、資格は同時に必要だとつくづく思いました。着せる時、いろいろな事でまたちがう角度から着せられるからです。こう考えるのは私だけでしょうか。

池野 泰子

七尾市和倉町ホ部23の7



着付士として「着る」「着付け」の喜びを知り、初心を忘れないと思っております。

清水 澄子

七尾市古屋敷町ル部24-4



着付士の勉強をして、ますます人に着せる事のむずかしさを知りました。紐の使い方、補正の仕方等、自分の物になる様ががんばります。

柏原 登代美

羽咋市本江町への70の2



着付士の名にふさわしい中身の伴った着付を、目指して頑張っています。

田中 孝美

富山県氷見市幸町7-13



時々、母から「習って悪いのは泥棒だけや」と言われます。いつでも、「学ぶ」姿勢だけは、持ち続けたいと思っています。

小沢 和代

七尾市古府町ワ部5



着る喜びから多勢の人たちの出会い、大きな輪となつて。よりきれいに、楽しく、これからも勉強を続けたいと思います。

ます。

瀬口 良子

七尾市赤浦町カ部16-1



妥協は許さないと、試験当日の先生方のきびしい目、五カ月間、毎週通い念願の資格証を頂きました。当面の課題は早く美しく着付ける事です。

近藤 智代美

七尾市奥原町上部272の1



大好きで始めた着付けが5年たちました。初心忘れず、着付士の資格を頂き、ますます未長く頑張りたいと思います。

崎田 克子

七尾市熊瀬町工部36



着物を着せる「今までとは違う観点から、着付けに対する喜びを感じました。これからも、よろしくお願い致します。



8面につづきます。

レディス・ファッション

日本美を きものに

中学・小 学制服 } 取扱い店
田鶴浜女子高制服 }

中村呉服洋品店

鹿島郡田鶴浜町
TEL(0767)68-2045

ほくでんオール電化ハウス

エレム



営業時間/10:00~18:00
休館日/毎週水曜日

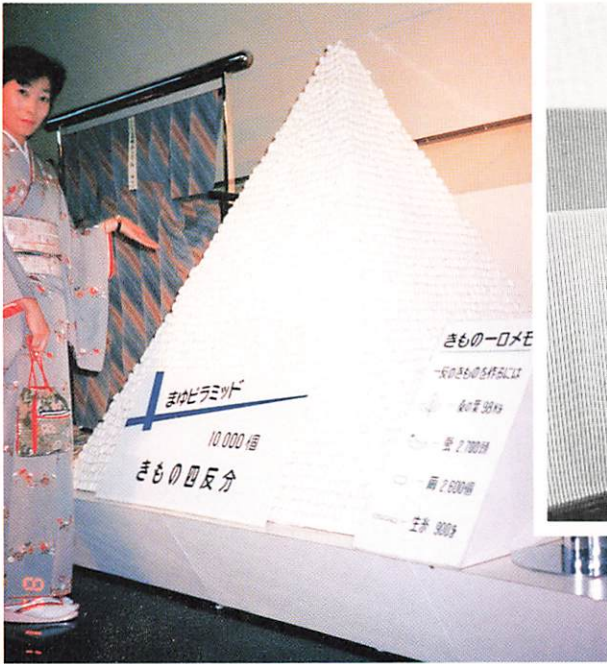
※お問い合わせは最寄りの北陸電力営業所まで。

和洋酒・くすり・週刊誌

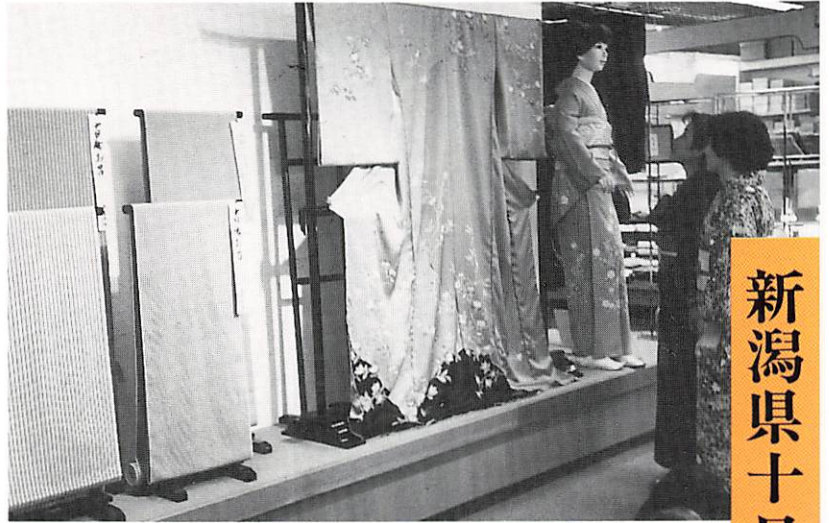
やま 岸

鹿島郡田鶴浜町
TEL(0767)68-2012

新潟県十日町



マユ玉のピラミッド

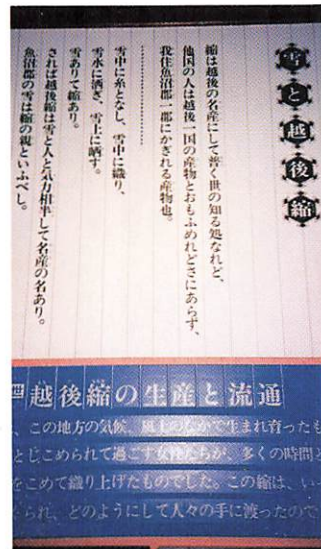


クロス10のつむぎ展示場

11月4日、一行8名七尾を出発し、北陸自動車道を走る事4時間余り、新潟県上越市に入りました。翌朝、上越市を後にし、着ているきもの色までも変わる様な、山々の色づきの中を1時間程走ると、いよいよ、目指す「きものふる里」十日町です。信州の山岳地帯に源を発する千曲川が、新潟県へ入って、信濃川と名を変えるあたり、上信越高原国立公園の山なみにかこまれた盆地の中に十日町があります。沖縄の宮古上市と並び、国の重要文化財の指定を受けている越後上布に代表される新潟県の織物の魅力の原点は何かを、ここ十日町で探って参りました。ここ十日町市は、1500年前から織物を織り続けている町であり、また世界的にも雪深い地域でもあります。「雪中に糸となし、雪中に織り、雪中に酒ぎ、雪中に晒す、雪ありて縮あり、雪は縮の親といふべし。」雪国に生きる人々と織物の関係を鋭く言い尽くした「北越雪譜」の一節です。この十日町織物は、雪に閉ざされた、長い冬の間の女性達の辛い労働から生まれた、越後の文化だったのです。それでは、十日町の代表的な織物の上布が出来上がる迄の工程を簡単に追ってみたいと思います。

- 1、苧績み（おうみ）
- 2、撚りかけ、整経
- 3、設計
- 4、拵括り（かすりくりり）
- 5、糸染め
- 6、織り
- 7、仕上げ

まず、原料となる苧麻（からむし）という植物の表皮から繊維を取り出し、髪の毛程の細さに爪の先で裂いては、それをつなぎ合わせ、1本の糸を撚っていく。



結城、大島、西陣……。誰でも幾つか耳にした事のある、全国各地に点在する織物の里シリーズの第1回目という事で、今回は、晩秋の越後にスポットを当て、十日町織物取材して参りました。

幸寿し

鹿島郡田鶴浜町
TEL(0767)68-3673

まさか！のために

興亜火災

興亜火災海上保険株式会社
金沢支店 七尾事務所

〒926 七尾市川原町28番地 天野ビル2F
TEL(0767)52-1181

一般建築塗装請負
各種吹付

石川県知事許可(般-63)第09205号

きり わけ
伐分塗装店

職業訓練指導員
一級技能士

伐分儀勝

〒926 七尾市本府中町カ部15の2
TEL(0767)52-6038
FAX(0767)52-6038



越後川口のヤナ場より望む紅葉の山



クロス10にてつむぎを織る

苧麻は乾くと切れやすいので口を含んで湿らせながら行います。
撚り終えた麻糸を糊づけ、糸染めし、織りの準備に入ります。
きものの博物館では、ロウ人形による工程作業が、今、時代を越えて私達の前に姿を見せてくれました。
一反分で千数百本もある糸を、1本1本織機にかけていく作業には、1週間以上も時間を費やすという。織機も居座り機といい、正座した足と腰で力の加減をしながら織っていく為、非常に時間がかかり、普通1反織り上げる為に1ヶ月以上、複雑な柄ものになると3ヶ月程かかるそうである。
出来上がった反物は、厳しい雪の中で晒されてゆく。雪の水分が蒸発する時に生じるオゾンの力で白いものはより白く、色のものはより鮮やかに、発色するそうである。
まさに自然と文化との、素晴らしい共存である。
こうして1週間から10日間繰り返し晒され、最後は、木と木の間に上布を張って乾かすのである。
以上の様な工程を経て、上布が出来上がるのだが、何とも驚かされるのは、全ての複雑な手間のかかる工程が、現在も手作業で行なわれている事でもある。
だからこそ、糸をよめる人、織る人、晒す人のそれぞれの思いが上布の中に込められ、その思いが薄くしなやかな風合い、素朴な暖か味のある色合い、それでいて精巧で表情豊かな柄柄に表われているのであろうか。
越後の少女たちは、十二、三才の頃から、機織りを覚えさせられ、貧しい家計を支えてきたという。
生活の歴史と共に育まれてきたこの伝統も、何事にも合理性が優先重視される現代の生活の中で、どんどん消えさうとしているのが現実である。
きものといえば、友禅のような華やかさに目を奪われがちだが、この様な長い伝統文化をもつ灯を消さないで欲しいと思わずにはいられません。
現在の十日町は京都西陣と並ぶ日本の代表的な絹織物の産地に発展し、産業物産館の「クロス10」では、きもの展示コーナーをはじめ呉服売場、民芸品、地酒コーナー等があり、地場産業をひと目で見る事が出来、県内外から多勢の人が訪れています。
「クロス10」では、手織機による紬の実演も体験する事が出来ました。何とさもの一反分に要するマユは、2600個も必要だという事です。
ここの十日町を訪ね、十日町おりのものにふれ、きものに対して目ではなく、心を奪われたような不思議な気持ちになり、もう一度訪ねてみたいと思わせる「きもの里」でした。

(編集委員 上島佐洋子・藤田寿代・森美智子)

コンピュータが印刷を変えた
コンピュータ文字組版 設備導入!!

第一印刷株式会社

白黒製版の限界を越えた
レーザー光線による二色分解

モノクロ新時代
パーフェクトスキャナ使用!!

七尾市国分町ウ部17 ☎(0767)53-3800(代)
FAX53-3656 フリーダイヤル0120-113801

栄養バランスを考えたら、この1本になりました。

明治 ラブ・イス



明治牛乳和倉販売所

山本牛乳店

七尾市和倉町ひばり3丁目 TEL62-2193



和倉温泉 TEL62-3769

お電話いただければすぐ伺います。

全国軽貨物運送協会指定

赤堀急配便

代表者 亀田直一

佐波郡赤堀町下触904-14
TEL(0270)62-1393(代)

着付士

野崎 秀子

鹿島郡田鶴浜町南町二部 8番地



あ感動は二度と忘れないでしよう。これからの苦しい、着くずれしない着つけをモットーに頑張ります。

三浦 一枝

鹿島郡鹿西町能登部



着付士として、たくさんの方々の出会いを大切に。いっそう技術を高め、着せてもらって良かった。と喜んで頂けるよう努力したいと思います。

中村 美智子

七尾市三島町56の1



着付士の資格をいただきましたが、現在着物に触れる機会も少く、残念に思っております。



伊藤 明子

七尾市亀山町66の1



着付に負担を感じたものですが、現在は頼まれる事に喜びを思う私です。先生方に感謝して居ります。皆さん、ぜひ声をかけてね。

石倉 信子

七尾市大和町チ部19ノ9



とてもハードでつらかった着付士の授業や試験も、着せてあげた人の、苦しくなくステキネの一言で、頑張ってきたと思います。

山下 珠美

鹿島郡中島町中島9部



着物を着る、着物を着せる、奥ゆかしい女性に一步でも近づけるよう努力しております。

茶木 峰子

七尾市川原町46番地



着付を学び着たり、着せたりするコツが少しわかってきました。今後機会をとらえて、勉強していこうと思います。

木谷 清美

七尾市相生町63



着付が気付き、（気持ちを引き、元気を付けてくれた）となった時、着付士として一人立ち出来るのかもしれない。がんばります。

安田 よしみ

七尾市和倉町ラ部15の2



念願にしており、おりました着付士としての資格を取得し、以上、木札に恥じる事の無いように一層の努力をし、職場に活用していきたいと思っております。

神野 律子

七尾市八幡町チ部17番地



いけません。何回しても先生のきびしい声がとびます。そう、その鈴のあきかげん、そう、その腰ひものしめかげん、先生の笑顔が今「着付士」としての励みです。

藤田 律子

鹿島郡中島町上町二部9



着付士になるまでに、いろいろな皆さんと共に勉強してきた事、そして、出会いがあった事をうれしく思っています。

横山 春枝

羽咋市粟生町シ57



山原先生の親切な教えに接し、又良き友に出逢えたおかげで、いくつかのハードルを越える事が出来た事を大変幸せに思っています。

杉山 喜美子

七尾市祖浜町2-9-29



着付士をいただきその重さには着物のつながりが深く、なりました。先生に注意された事を心に留め、精進したいと存じます。

森 桂子

七尾市藤野町イ部25の1



チャームにエレガントにその人に合った喜んでいただける着付を心がけ、心新たに頑張りたいと思います。有難うございました。

森 美智子

七尾市矢田町99の1



「着るから着付ける」という資格を頂き、着物の素晴らしさを、一人でも沢山の方に伝えられる様に精進したいと思っております。

指導員

氷見 厚子	鶴見 寿子
万尾 厚子	逢阪 敦子
金沢 山本さよみ	中村由紀子
渡瀬 文江	平野外志子
尾谷 幸子	芳永喜代子
羽野 美智子	田中カフミ
猪野 美智子	
片岡 絹枝	
四十物 静子	
八十田 美香	
七尾 合田 二三	横山 貴子
高野 巳恵	安田由美子
山本 順子	池田 孝子
金井 一美	中村みね子
石田 美紀保	尾谷 郁子



相撲茶屋・民宿

関 取

七尾市西藤橋町 TEL53-5878(代)

伝統をふまえて、格調高く。

料亭 福井亭
総合結婚式場
煌福殿

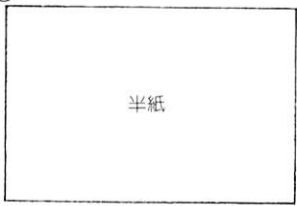
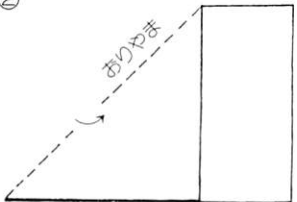
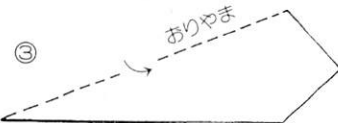
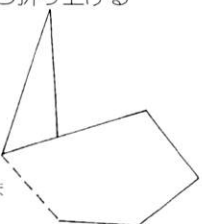
七尾市三島町74-2 TEL52-0234(代)

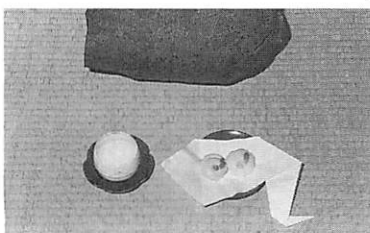
ファッション衣料
記念品・贈答品

ファミリーショップ
杉 宅

TEL (0767)68-2020

おめでたい 敷紙の折り方

- ①  半紙
 - ②  おりやま
 - ③  おりやま
 - ④ 裏から折り上げる  おりやま
 - ⑤ 口ばしを作る  おりやま
- (注) 左が頭になる。



誌上レッスン

『福寿草』

山原昌娃

袋帯を使つての、華やかな帯結びです。
今回、姿枕を使用しましたが、手結びの
場合は、手先を上にして結びます。



▲出来上り<写真3>

写真2▼

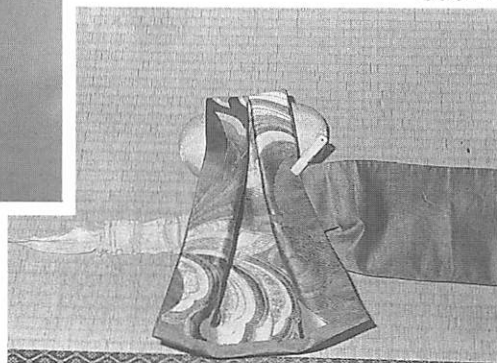


ワンポイント<写真2>

最初の羽根を作り次の羽根を作るとき
帯にゆとりをもたせて作る。

- ① 手先の表で裏箱ひだをつくる。裏にかえして姿枕をあてる。(模様の切れ目に)
<写真1>
- ② 襟付けより、にぎりこぶし1つ下の位置にあてる。模様の切れ目は背中心に巻き、後板を入れる。
- ③ 帯を枕にかける。
- ④ 帯の下から枕じめをする。
- ⑤ 20cm位の羽根(3本ダーツ)を作り更に同じ羽根を重ねる。
- ⑥ ダブルひもでおさえる。
<写真2>
- ⑦ たれ先で手巾1つ分折り返し花をつくる。先のダブルひもにくぐらせる。
- ⑧ 帯あげをかけ、帯締めをする。
- ⑨ 羽根をととのえて、リボンまたはスカーフで飾りつけて仕上げをする。

写真1▼



豆腐・コンニャク

飯川豆腐店

七尾市作事町
TEL (0767) 52-0766



THE BEST PARTNER

よく広告効果という言葉を目にします。限られた予算内で最大の効果をあげるためには、やはり消費者の心に迫るコミュニケーションのテクニックが必要です。当社は、高度な印刷技術を有するハードを背景に、表現内容の充実＝クリエイティブな分野にこそ最もそのパワーを発揮します。



企画・デザイン・印刷事業

ADポイントニュービレッジ
●〒923 小松市長崎町4-68 ●TEL (0761) 24-2360 ●FAX (0761) 24-2359
ADポイント福井
●910 福井市加茂河原2丁目20-13 ●TEL (0776) 26-6230

私と着物……習ってよかった着付け

着せる楽しさも

上田 和代

自分で着物が着られたら
という思いから、着付けを
始めて、一年二ヶ月がたち
ました。その中には、いろ
いろな人達との出会いもあ
りました。

最初の頃は、着物の着方
はもちろん、帯の結び方さ
え知らなかった自分が、一
人で着物を着て、帯を結ん
だ時ほど嬉しかったことは
ありませんでした。また、
帯結び一つとっても、出来
上った時の喜びはひとしお
です。

着付けを習うまでは、着
物をみていても、ただ、「美
しい」というぐらいしか思
いませんでしたが、着付け
を習ったことによつて、こ
ういう着物もいいなあ、
こういうのも着てみたい、
というように、着物を「見
る」「着る」楽しさを知る
ことができました。「着せ
る」ということに関しては
まだまだですが、これから
の勉強の上で、今まで以上
に「着せる」楽しさをも学
んでいきたいと思ひます。
(鹿島郡田鶴浜町)

娘達の花嫁姿を 夢見ながら

合田 二三

一年前までは、夫婦同時
に出かけるサラリーマンで
した。朝の三分、五分と自
分のことは、自分で言い
ながら戦争の様な毎日が、
三十年間続きました。今、
主人を送り出し、これまで
の目の廻るような朝から、
解放されてみると、何から
手を出してよいのか、ボー

教室の一日

松山 すみ子

おはようございます。朝、
教室でみんなの顔を見ると
ホッとします。今日も一日一
緒に勉強出来る。とうれし
くなる。

一人でも休んでいると、
どうしたのと、みんなで心
配する。人への思いやりつ
て大切なことだと思ふ。
さあ勉強の始まり、始ま
り。先生の話を聞いている
と、うん、うん、うんとい
う。先生の一言で結び始め
る。出来ぬ自分がはやくて
ならない、理屈でわかつて



一人結びがこんなにきれいに
仕上がりました

いても、手の方がうまくい
かない。毎日、一時間でも
練習したい気持ちになる。き
ものを着せる相手をも、どう
美観したらいいのか、自分
の頭で創造がまだうかばな
い。ならったことについて
いくのが、やつの自分の
はがゆい気持ちです。振袖、
留袖は着たことあるが、
着せたことがない。これか
らは先生の目が厳しく光る
ときいてる。その厳しさに
私は負けたくない。歩み
出た道を最後までたどりつ
きたいと思つています。先
生の持つてくる知識を、一
つでも学びとって行きたい
です。今後よろしくお願
い申し上げます。(七尾市)

ッと座っている自分です。
電話代は、今までの何倍に
も膨れ上がり、身体があつ
ちこつちに、肉たるもの
が、遠慮会釈なく付き、悩
みは増える一方です。
そんなある日、友人に誘
われて、いろいろな催しも
のをして、いろいろ催しも
見ることに、会場に入
った瞬間に、はっとした気
持ちになりました。何と一
気にしていた年齢層が、パ
ラバラなのに一安心です。
ある教室の先生のあいさ

つの中に、自分の教室には、
一年生二年生もいれば、五
年、十年というベテランの
方達もいる。いろいろな組
合せで楽しい。その中の八
十才という高齢の方がおつ
しやるには「先生、私も、
あと十年も習ったら、あの
人達のようにうまくなれるか
ね」と言った。
それには一瞬、ドキリと
うです。八十才プラス十才、
何とすばらしい「おばあ
ちゃん」おもしろ手を叩きた

ゆっくり気長に

渡瀬 文江

六月十五日に山原先生の
ご自宅へ初めてお伺いして
はや五ヶ月がたちました。
着付けを仕事のようにして
八月いっばい先生の自宅・
中日文化センター・農協会
館と週四回通ったこともあ
りました。

着付けに関しては、きも
のをたたむことさえ知らな
かった私には、教室での一
回一回の内容が真新しく、
回数を重ねるごとに頭の中
はパニック状態でした。で
もゼロから始めた私にとつ
ては、きもの知識が一つ
ひとつ多く身につくという
はとてもうれしいことで、
楽しいことです。

山原先生のご好意と、私
のわがまままで急ピッチで専
攻科まで修了させていただき
き、今度は指導員の資格試
験のチャンスにいただきます
ました。何度ものチャンスを
大変ありがたく思っています。
今後は今まで早足だつ
た分、ゆっくりと気長に学
んでゆきたいと思ひます。
きものの魅力を温めてゆく
ためにも。(金沢市)

くなりしました。今までの、
自分が恥かしく一人での顔
が赤くなる思いがしました。
自分の娘を始め、適齢期
の娘達がいるのに気づき習
い初めたのが着付け教室です。
本科が過ぎ専科に入った頃、
突然にやってくる父の死。
悲しみを堪えながら、先生
からの教を思いだしたなが
らのアドバイスでした。お
ばあちゃん、おじいちゃん
の引き合せて今は、娘達の
花嫁姿を夢見ながらの毎日
です。(鹿島郡鹿西町)

楽しい教室……女性美の表現に驚きも

味とよ茶 水車

氷見市丸の内9-4 TEL72-5043

クレドールショップ 宝石・時計・メガネ



ヤマイチ

氷見市幸町 ハッピータウン1F
氷見市本町 教育文化センター前 ☎(0766) 72-1433

ギフトセンター

ほりおか

七尾市相生町27
TEL(0767)53-4171

ハカマの仕立

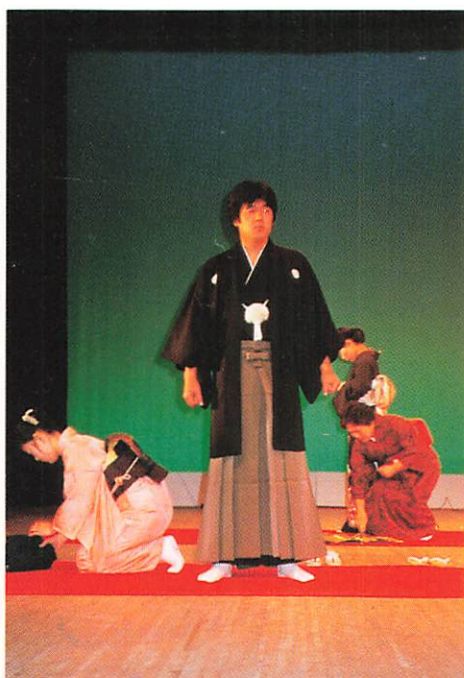
あんどん・馬のり・踊り袴など仕立。
形直し、裏返し、丈直しなどの直しも
します。一度持参して来てみて下さい。

丸 谷

七尾市大和町
TEL(0767)53-0792

華やかさの中にも凛として

中日文化センター(七尾)発表会



▶男子 羽織・袴の仕上り



▶着付士による振袖の着付



▶可愛い…子役も出演



▶二部フィナーレ

終了して控室にて：
おつかれさまでした！



(写真撮影・内山猶代さん)

十一月二十六日、七尾市市民会館に於て、中日文化センター芸能発表会が行なわれ、当学院から八十三名が出演しました。
市民会館の舞台の大きさにもおどけず、日頃の練習の成果が発揮できたように思いました。ご主人や、子供さん達の姿もあり、色どりを添えてくれました。
ご協力ありがとうございました。
△文化センター発表会出演者▽

〔前半〕

名古屋帯お太鼓結び

塚原 春美 山本 幸子 鍛冶恵美子
鳥内 勝代 大丸菜穂子 安藤加代子
山崎 春美 山本 良子
名古屋帯を相手に結び

佐田味文子

松山すみ子 西山マリ子
石田文江 山本 順子 金井 一美
石田美紀保 高野 巳恵 池田 幸子
稗田 和子

袋帯を相手に結び

久保みあき 藤田 寿代 森尾妃呂美
長尾 繁子 中村由美子 浜中由紀子
竹田 紀子 塚田真由美 高橋 典子
作川 弥生 谷 直子 関 登志子
宮本 純子 竹内 恭子

〔後半〕

名古屋お太鼓結び

真館 尚子 関谷 千恵 鹿渡 幸子
宮沢 直美 藤井久美子 酒井 敦子
一花 恵 深尾 真弓
相手に結び

八田静子

堀井 紀子 猪野美智子
吉田智重紀 藤沢富二江 北山 祥子
平野外志子 森野江任子 北山みゆき
北山美和子 川井喜美子 北村 優子
松本 敬子 山本真砂子 野口 弘子
深見 良子

きもの着付と帯結び

西谷 洋子 野崎 秀子 水上 美枝
藪田由紀子 神野 律子 藤田 律子
柏原登代美 崎田 克子 左近 清美
小沢 和代 三浦 一枝 森 桂子
山下 珠美 茶木 峰子 伊藤 明子
*モデル

中村由美子

浜中由紀子 青木 睦美
杉山喜美子 瀬口 良子 左近 誠道
左近 梨恵 小沢 未菜 野崎 祐子
森 辰美 木谷 清美 瀧見ゆかり

編集後記

ご繁多の中、寸暇をさいて、ご執筆下さいました、宮田教育長様ありがとうございました。感謝申し上げます。

「織物の産地を訪ねて」は、今回初めて取材に出て文章をまとめたシリーズものです。取材をひととき忘れて、ヤナ場でアユをつかみ、大はしやぎしたあと、アユめしに舌づつみを打った。

しかし、帰ってからが難産であった。文章を書くことの難しさを改めて痛感。

書く段になって、取材の甘さや、写真の撮り方に、今一つと反省しきり。色づいた山々、青い空、信濃路の秋はいまも印象深いです。

十日町では間蔵俊甫様にお世話になりました。ありがとうございました。(山原)

* 十日町織物の素朴さと、ほろ苦い鮎の美味しさが、どうしても忘れられないのは、私だけでしょうか。(藤田)

編集委員

上島佐洋子 松井 吉子
藤沢 久江 森 美智子
田中ひとみ 藤田 寿代
三浦 一枝 木谷 清美
清水 澄子

期 第二号 平成二年一月一日発行

発行 全国きもの指導者協会認定校

山原昌雄先生の着付学院

〒920 七尾市藤橋町126-1

TEL (076) 52-1615

編集 編集委員会

責任者 藤沢久江

〒920-21 鹿島郡田鶴浜町

TEL (076) 68-3145

印刷 ADポイントニュービレッジ

〒920 小松市長崎町4-68

TEL (076) 24-3360



35年の御愛顧に感謝

コーリン

ベルト



コーリン株式会社
京都市北区紫野宮西町32
TEL京都(075)441-0101代